




外部機器接続ガイド

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[あいうえお]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

商標

Adobe®および Reader®は、米国および/またはその他の国におけるアドビシステムズ社の登録商標または商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権

本文書の情報は予告無く変更することがあります。本文書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約の下に提供されています。ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

目次

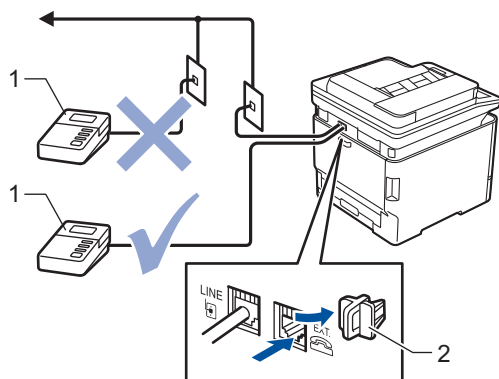
外付け留守番電話機	1
外付け留守番電話機を接続する.....	2
外付け留守番電話機で応答メッセージを録音する.....	3
外付け電話機を接続する	4
リモートコードを使う	5

外付け留守番電話機

外付け留守番電話機（TAD）を本製品が使用しているのと同じ回線に接続します。留守番電話機が受信すると、送信側のファクス機から送信された CNG（ファクスコール）トーンを感知します。トーンを感知すると、電話をコントロールし、ファクスを受信します。トーンを感知しない場合、留守番電話機が音声メッセージを録音し、液晶ディスプレイが「通話中」を表示します。

外付け留守番電話を接続する場合は、本製品の受信モードを外付け留守電モードに設定してください。

外付け留守番電話の呼び出し回数は 4 回以内に設定してください（2 回を推奨します）。これは、外付け留守番電話機が電話に反応するまで、製品は CNG トーンを感知することができないためです。送信側のファクス機が CNG トーンを送信するのはほんの 8～10 秒です。ファクス機が作動するのに 4 回以上ベルを鳴らす必要がある場合、お使いの外付け留守番電話機でトールセーバー機能を使用することは推奨していません。



- 1 留守番電話
- 2 保護キャップ

重要

同じ電話回線上の別の場所に留守番電話機を接続しないでください。



ファクスの受信に問題が発生する場合は、外付け留守番電話機の呼出ベル回数設定を減らしてください。



関連情報

- 外付け留守番電話機を接続する
- 外付け留守番電話機で応答メッセージを録音する

外付け留守番電話機を接続する

本製品の背面にある EXT.と示された差し込み口に、外付け留守番電話機を差し込む必要があります。壁の差し込み口に留守番電話機を差し込むと、本製品は正常に動作しません（着信鳴り分けを使用している場合を除く）。

1. 壁の電話用差し込み口から本製品の背面にある LINE と示された差し込み口に、電話機コードを差し込みます。
2. 本製品の背面にある EXT.と示された差し込み口に、外付け留守番電話機の電話機コードを差し込みます。（このコードはその電話機の差し込み口ではなく、留守番電話機の電話機コードに必ず差し込んでください。）
3. 外部 TAD（留守番電話機）を、許容される最小呼出ベル回数に設定します。詳細については、電話会社にお問い合わせください。（本製品の呼出ベル回数の設定は適用されません。）
4. 外付け留守番電話機の応答メッセージを録音します。
5. 着信に応答するよう留守番電話機を設定します。
6. 本製品の受信モードを「留守=外付け留守電」に設定します。

✓ 関連情報

- [外付け留守番電話機](#)

外付け留守番電話機で応答メッセージを録音する

1. メッセージの冒頭に、5 秒間の無音状態が録音されます。これにより本製品がファクス受信音を聞く時間ができます。
2. 録音するメッセージは 20 秒以内にしてください。

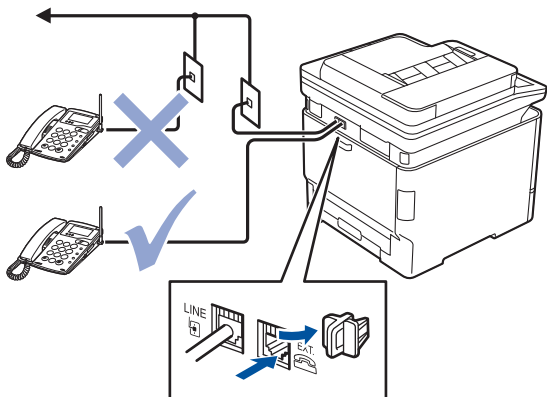


関連情報

- [外付け留守番電話機](#)

外付け電話機を接続する

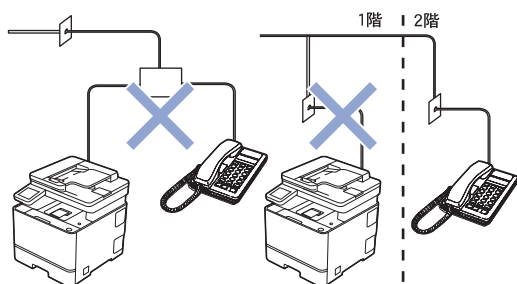
お使いの電話機を本製品に接続することができます。本製品背面の外付け電話端子 (EXT.) に付いているキャップを外して接続してください。



重要

ブランチ接続 (並列接続) はしないでください。ブランチ接続 (並列接続) をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります

- ファクス送受信中に、並列接続されている電話機の手話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
- 着信時に、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本製品で保留にした場合、並列に接続された電話機では本製品の保留状態を解除できません。
- 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。





リモートコードを使う

リモートコードを使うと、本製品と接続している外付け電話機から本製品を操作して、ファクスを受信することができます。これをリモート受信といいます。

着信音が鳴ったら外付け電話機の受話器を取り、「#51」（リモート起動番号）を入力します。画面に受信中の表示がされたら、外付け電話機の受話器を戻します。リモート受信が始まります。



ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行う場合は、外付け電話機のトーンボタンを押して、トーン信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [リモート受信] > [リモート受信] を押します。
2. [オン]を押します。
3.  を押します。

brother



JPN
Version 0